賤ケ岳の戦い

七本槍が名を上げた



一五八二年、織田信長が本能寺で明智光秀におそわれました。その後、信長の後をだれがつぐのかを決める話し合いが、古くからの家来である柴田勝家と、明智光秀をたおした羽柴秀吉の間で開かれました。勝家は信長の三男を、秀吉はまだおさない信長の孫をおします。二人の考えは、どうしても合いませんでした。

そして一五八三年、勝家軍と秀吉軍はついに近江の国（今の滋賀県）の賤ケ岳で向かい合いました。勝家のおいの佐久間盛政は、秀吉軍のとりでをせめ落とし、大きな手がらを立てます。そして盛政は、そのあとも、せめた場所に長くとどまっていました。

【　　】、秀吉は、近江から遠くはなれた美濃の国（今の岐阜県）にいました。とりでをせめ落とされた知らせを聞くと、すぐに軍を近江へもどしました。五十キロメートルほどの道を五時間ほどでもどり、そして夜が明ける前に、盛政におそいかかったと言われています。

このとき先に立って戦ったのが、まだ若い七人の武士でした。福島正則、加藤清正、加藤嘉明、脇坂安治、平野長泰、片桐且元、糟屋武則。のちに「賤ケ岳の七本槍」とよばれました。やぶれた勝家軍は城へにげもどり、秀吉は天下に大きく近づきました。

せんたく(1)

文しょうに合うものはどれですか？選んで○をつけましょう。

①秀吉はすぐに近江へ軍をもどした

②柴田勝家が秀吉をうち取った

③佐久間盛政はとりでを落とせなかった

せんたく(2)

文しょうの（　）に入る言葉はどれですか？選んで○をつけましょう。

①いっぽう

②だから

③たとえば

きじゅつ(1)

盛政は、せめ落としたあとどうしましたか？

きじゅつ(2)

先に立って戦った七人は何とよばれましたか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1)ひっし

(2)かんさつ

(3)きろく

© ドリパパの国語テスト　doripapadrill.com

こたえ

賤ケ岳の戦い

せんたく

(1) ①　(2) ①

きじゅつ

(1) せめた場所に長くとどまっていた

(2) 賤ケ岳の七本槍

漢字

(1) 必死　(2) 観察　(3) 記録

© ドリパパの国語テスト　doripapadrill.com